

## 船舶事故等調査報告書

平成21年12月24日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第80号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年9月18日 11時00分ごろ	
発生場所	沖縄県宮古島市 佐良浜港第1防波堤灯台から真方位248° 4.3海里付近（概位 北緯24° 48.5′ 東経125° 08.7′）	
事故等調査の経過	平成21年9月18日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	ダイビング船 ディスカバリー、5トン未満	
船舶番号、船舶所有者等	296-17895 沖縄、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	推進器2個脱落	
事故等の経過	<p>本船は、船長が乗り組み、スタッフ3人と乗客3人を乗せ、下地島西方沖のダイビングポイントに向かい、同ポイントの海底に設置されていたロープに、スタッフB及びスタッフCが潜って本船の係留索を掛け、右舷船尾で係止した。船長は、フライングブリッジから船尾デッキに降りて、周囲の海面を見たところ水深が浅いことに気付き、同ポイントを離れるため、スタッフAに係留索を巻き取るよう指示をした。本船は、スタッフAが巻き取り作業中、風に圧流され、平成21年9月18日11時00分ごろ、同島西方のリーフに乗り揚げた。</p> <p>本船は、乗揚後、船尾が水没した状態で、引船により離礁し、引船にえい航されて、下地島の長山港に入港した。</p>	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 4、視界 良好 海象：波高 約0.5m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり <p>本船は、佐良浜港西南西方沖においてダイビングポイントを変更する際、係留索を放す前に主機を使用したリーフから離れる操船を適切に行わなかったものと考えられる。</p> <p>船長は、係留索が放たれた際、プロペラに巻き込むと判断し、係留索を巻き取る作業が終わるのを待っていたものと考えられる。</p> <p>スタッフBは、本船が圧流され、リーフに接近していたことに気付いたが報告しなかった可能性があると考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が佐良浜港西南西方沖においてダイビングポイントを変更する際、係留索を放す前にリーフから離れる操船を適切に行わなかった	

	ため、リーフに乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。
--	--------------------------------